指定管理者制度による施設の管理運営状況総括調書
（総合結果）

施設名	神奈川県立伊勢原射撃場		
指定管理者名	一般社団法人神奈川県射撃協会		
施設所管課（事務所）	スポーツ課	（	）
指定期間	Ｒ５．４．１（2023年） ～ Ｒ10．３．31（2028年）	評価期間	Ｒ５（2023）年度 ～ Ｒ７（2025）年度

指定管理者制度による管理運営状況の総合評価

評価	評価基準
A	Ｓ：極めて良好 Ａ：良好 Ｂ：一部改善が必要 Ｃ：抜本的な改善が必要

評価理由及び今後の対応

指定管理者制度による管理運営状況の総括を行ったところ、施設の管理運営が適切に行われていることを確認した。
特に、施設の維持管理や日常的な設備のメンテナンスが丁寧に行われていること、職員及び従業員の窓口対応等を通じて、安全・安心、かつ、「繰り返し使いたい」と思わせる施設運営を県民に提供できていること、施設利用者の高い満足度を得ていることも認められ、指定管理者制度による管理運営は有効であると評価できる。
このため、引き続き指定管理者制度により、施設の管理運営を行うことが望ましい。

指定管理者制度による管理の有効性	有	無

１　サービス向上に向けた取組の実施状況

確認項目	確認の視点	項目別評価	内容・評価理由
指定管理業務実施にあたっての考え方、運営の方針等	□指定管理業務の総合的な運営方針が守られているか □委託した業務は適切に実施されているか	A	□射撃競技で扱う銃の危険性を鑑み、安全を第一として運営を行っている。 □総合射撃場として様々な射撃場利用者のスキルアップ、競技者の育成に貢献している。
施設の維持管理	□施設の維持管理（清掃業務、ごみ収集業務、保守点検業務、受付業務、警備業務等）は事業計画どおり実施されているか	A	□日常的に清潔に施設を管理し、また、丁寧な受付業務を行う等、施設利用者が快適に利用できる状態を維持できている。
地域と連携した魅力ある施設づくり	□地域人材の活用、地域との協力体制の構築、ボランティア団体等の育成・連携の取組を積極的に行っているか □地域企業等への業務委託を行っているか	A	□宿泊を伴う伊勢原射撃場での合宿・大会には、地元の旅館組合と協力し、広報する等地域振興に努める等、地域との連携体制を活用した取組を行うことができている。 □点検業務等、業務内容によっては、迅速な対応ができるよう、地域業者を採用している。

評価結果	評価区分
A	Ｓ：協定等に定める水準を上回る（項目別評価でＢ、Ｃがなく Ｓが半数以上※） Ａ：協定等に定める水準どおり　（項目別評価でＢ、Ｃがなく Ａが半数以上※） Ｂ：協定等に定める水準を下回る（項目別評価でＢが１つ以上） Ｃ：協定等に定める水準を大幅に下回る（項目別評価でＣが１つ以上）

２　施設の利用状況

	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度	３か年平均
目標値 （利用者数） 設定方法：　ア	21,000　人	21,000　人	21,000　人	21,000　人
利用者数	22,947　人	21,973　人	22,780　人	22,567　人
対目標値（数） ※下段は率	1,947　人 109　％	973　人 105　％	1,780　人 109　％	対目標値（率） 107.5　％

※目標値の設定方法　　ア…募集時の提案事項のため、指定期間当初から設定
イ…モニタリング調書作成等のため、便宜的に設定

評価結果	評価区分
A	利用者数と目標値を比較して（３か年平均） Ｓ：110％以上 Ａ：100％以上～110％未満 Ｂ：　85％以上～100％未満 Ｃ：　85％未満 （女性自立支援施設と県営住宅等において評価を行わない場合、目標値欄には定員等を記載する。）

確認の視点	施設の利用状況についての評価
□事業の広報・ＰＲは効果的に実施されているか □自主事業は施設の設置目的に合致し、利用促進につながっているか □利用促進に向けた取組は適切か	□指定管理者の有するネットワークを活用し、競技団体が主催する大規模大会を誘致したり、ホームページ、ＳＮＳを通じて場内の空き情報を発信することで個人利用者の利用促進を図っている。 □若年層の銃砲所持者の増加や競技への定着をねらいとして、初心者用の射撃教室を実施している。射撃における基本的技術や安全意識について重点的に指導することで、利用者自身の技術の向上につながり、当射撃場への繰り返しの来場につながっている。

３　利用者満足度の状況

	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度	３か年平均
利用者満足度調査において「満足」と答えた利用者の割合（サービス内容の総合的評価に係る設問） ※上段：割合、下段：回答者数	97.0％ 384 人	94.8％ 344 人	97.0％ 390 人	96.3　％

※複数回実施した場合や複数対象に向けて実施した場合等は、合計した数値を記載

評価結果	評価区分
S	「満足」（上位２段階の評価）と答えた割合が（３か年平均） Ｓ：　90％以上 Ａ：　70％以上～　90％未満 Ｂ：　50％以上～　70％未満 Ｃ：　50％未満　又はＳ～Ｂにかかわらず「不満足」と答えた割合が50％以上

確認の視点	利用者満足度の状況についての評価
□調査の実施方法（対象、時期、回数、配布方法等）は適切か □利用者満足度向上に向けた取組は適切か	□複数回（９月と３月）調査を実施し、時季に関係した課題等も把握することができている。なお、満足度調査においては、クレー射撃場とライフル射撃場それぞれの満足度別回答者数が分かるよう調査されたい。 □設備の清潔な管理や従業員の丁寧な対応等が、利用者からの高評価という結果に表れていると思われる。

４　苦情・要望等への対応

	年月	意見の内容	対応状況
施設の管理に関する利用者からの主な意見と対応状況	R5.9	施設の利用環境の充実	検証を行い、待合スペースやトイレ設備の充実を行った。
	R5.9	食堂の運営希望	検証を行い、食堂の運営を再開した。
	R6.12	射撃教習で指導する職員への態度に対する苦情	職員への指導及び利用者への説明を行った。
	R7.9	車イス利用者用への対応	車イス利用者用の扉が開錠されておらず、その際の電話対応も利用者の心証を害するものだったため、後日手紙を通じ謝罪した。

確認の視点	苦情・要望等への対応についての評価
□積極的に苦情・要望等の把握に取り組んでいるか □把握した内容を事業等へ適切に反映する仕組みを整備しているか □苦情・要望等への対応は適切か	□施設利用者から苦情を受けることはあるが、設備の管理や施設の運営については、施設利用者の利便性を優先的に対応を検討している。 □トイレや駐車場の舗装、控室の壁紙等、利用者の利用頻度が高い箇所は、指定管理者が進んで補修や改修を行っている。 □苦情の中には、銃の扱いへの指導に係る不満等も含まれており、警察と連絡を密に行う等、適切に対処している。

５　事故・不祥事等への対応

事故・不祥事等の概要と対応状況	発生年月日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
		該当なし

確認の視点	事故・不祥事等への対応についての評価
□事故・不祥事等防止に向けた仕組みが構築されているか □事故・不祥事等発生時の対応は適切か	□事故・不祥事防止のために職員の研修等を行った結果、３年間で個人情報の流出や現金等の紛失は０件である。 □事故の中には、銃の扱いに係るものも含まれており、警察と連絡を密に行う等、適切に対処している。

６　収支状況

単位：千円

	【参考】Ｒ４年度			Ｒ５年度			Ｒ６年度		
収入	112,472 (95,037)			116,328 (125,127)			111,592 (125,127)		
内訳	指定管理料	利用料金	その他	指定管理料	利用料金	その他	指定管理料	利用料金	その他
	0 (0)	70,513 (59,197)	41,959 (35,840)	0 (0)	74,288 (76,192)	42,040 (48,935)	0 (0)	71,512 (76,192)	40,080 (48,935)
支出	130,397 (95,037)			123,336 (125,127)			121,658 (125,127)		
収支差額	△ 17,925 (0)			△ 7,008 (0)			△ 10,066 (0)		

	Ｒ７年度			累計			
収入	113,180 (120,000)			341,100 370,254			
内訳	指定管理料	利用料金	その他	指定管理料	利用料金	その他	
	2,351 (0)	73,427 (90,000)	37,402 (30,000)	2,351 (0)	219,227 (242,384)	119,522 127,870	
支出	116,083 (120,000)			361,077 (370,254)			
収支差額	△ 2,903 (0)			△ 19,977 (0)			収入合計／支出合計比 94.5%

※(　)内は収支計画額。令和７年度は速報値

評価結果	評価区分
B	収入合計／支出合計の比率が Ｓ(優良)：105%以上 Ａ(良好)：100%～105%未満 Ｂ(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 Ｃ(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満

確認の視点	収支状況についての評価
□収入増加に向けた取組の内容は適切か □経費節減に向けた取組の内容は適切か	□施設のサービス向上や射撃教室によるスキルアップ、ビームライフル体験会の実施、指定管理者による大会や団体練習の積極的な誘致により、利用者数は計画数を超えており、取組は適切といえる。 □支出は、施設の維持管理や設備の修繕等に係る人件費が増となる一方で、燃料の節減や運営の効率化によって需用費を減少させており、取組は適切といえる。

7　業務遂行能力

確認項目	確認の視点	項目別評価	内容・評価理由
人的な能力、執行体制	□管理運営にあたって適切な人員が配置されているか □人材育成や職員採用が適切に行われているか	A	□射撃場の利用が増加する時期や射場の清掃が多忙になる時期に応じて、射撃場の人員を補強する等、適切に人員を配置している。
	□労働時間短縮の取組や職場のハラスメント対策など労働環境の確保の取組が行われているか		□指定管理者においてコンプライアンス規定を設け、職員及び従業員に適宜、研修を実施している。
コンプライアンス、社会貢献	□指定管理業務等の実施にあたって法令違反等の行為はないか □環境への配慮は適切か □障害者雇用等の状況は適切か	A	□毎年度コンプライアンス研修を実施しており、法令違反等の事故は発生していない。 □省エネ対策として、施設の電球を自主的にＬＥＤに更新した。 □雇用労働者数は、全体で40人未満であり、法定雇用の対象外である。
個人情報保護	□個人情報保護についての方針・体制及び教育・研修体制は適切か □個人情報の取扱いは適切か	A	□指定管理者において個人情報保護規程を定め、職員及び従業員に適宜、研修を実施している。 □個人情報が記録されている紙媒体等は鍵付きキャビネット等に保管し、また、職員が使用するパソコンにはウイルス対策ソフトをインストールする等の措置を講じた。

評価結果	評価区分
A	Ｓ：協定等に定める水準を上回る（項目別評価でＢ、Ｃがなく Ｓが半数以上※） Ａ：協定等に定める水準どおり　（項目別評価でＢ、Ｃがなく Ａが半数以上※） Ｂ：協定等に定める水準を下回る（項目別評価でＢが１つ以上） Ｃ：協定等に定める水準を大幅に下回る（項目別評価でＣが１つ以上）